

### 播磨町の広報に関するアンケート調査 結果報告

町の広報活動への住民の皆さまの満足度や、町の情報をどのような方法で入手されているかなどを把握し、今後の広報施策に役立てるために、次の通りアンケート調査を実施しました。

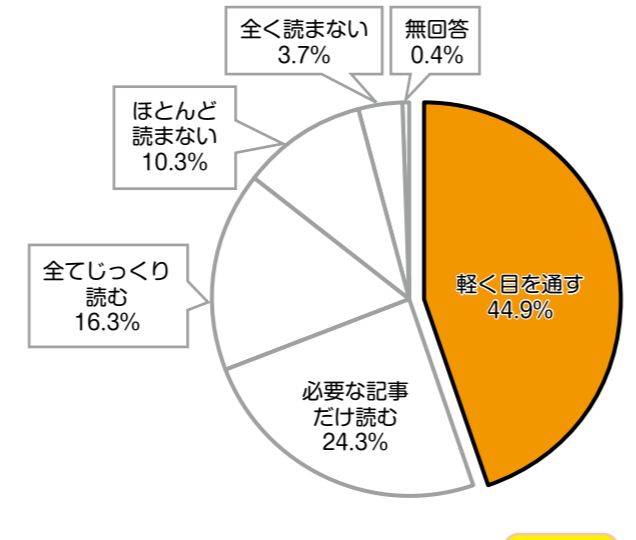
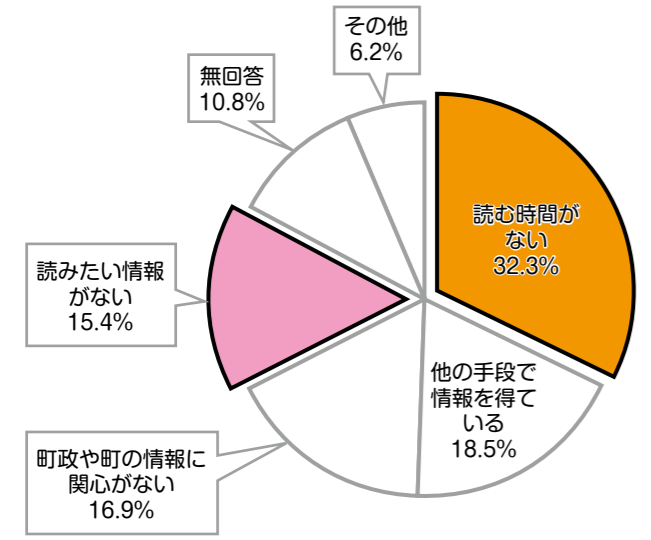
【期間】令和3年6月14日～6月30日【対象者】町内にお住まいの18歳以上の人のうち、無作為に抽出した1,000人【回答者数】465人【回答率】46.5%

▶町政モニター事業についての問合せ  
企画グループ ☎079 (435) 0356

※各グラフデータは紙面の都合上一部編集しています。

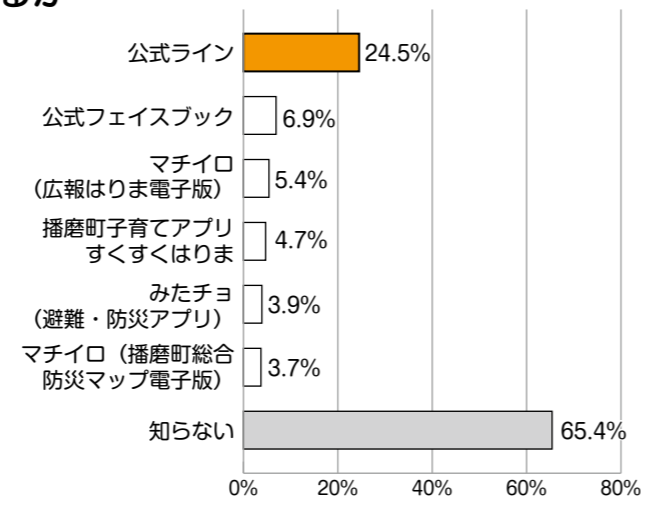
### ○広報はりまを読まない理由

### ○広報はりまをどのくらい読むか



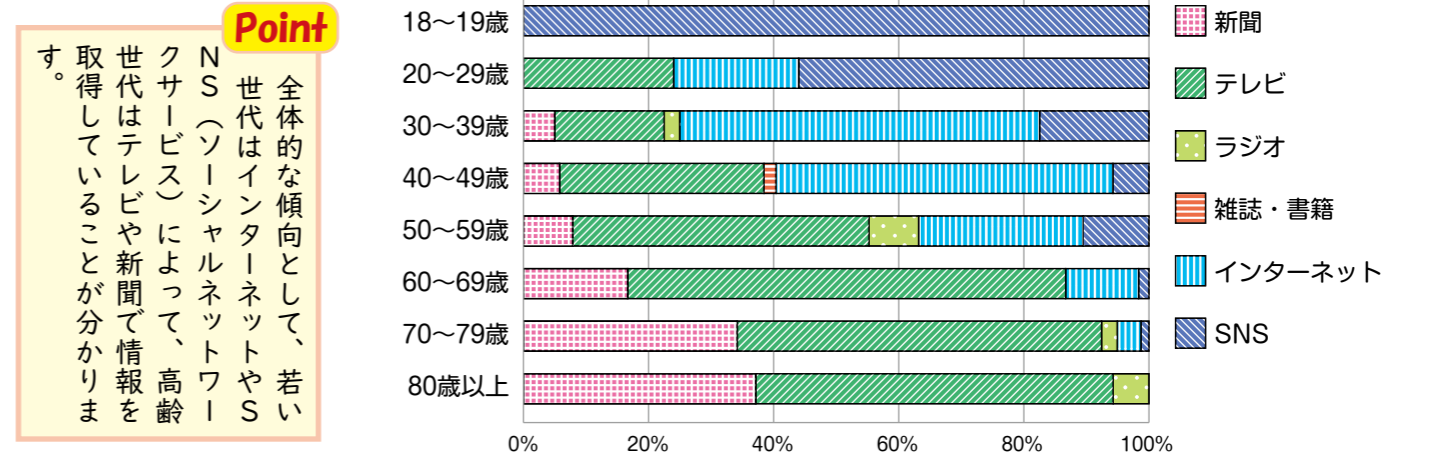
**Point**  
現在の広報はりまの読まれ方について、44.9%の人が「軽く目を通す」と回答されました。また、広報はりまを「読みたい情報がない」として、「読む時間がない」(32.3%)、「読みたい情報がない」(15.4%)などがあげられました。この結果を分析すると、全ての記事に目を通して読まない原因の一つに、記事の一つ読み終わるまでに多くの時間を必要としていること、そして読み手が「読みたい」と思える情報が少ないことが考えられます。これらを改善するためには、一つひとつの記事について、皆さまが読みたいと思う情報ニーズの把握に努め、読みやすさや情報の伝わりやすさに重点を置き、記事を構成する必要があります。

### ○スマートフォンアプリやSNSを知っているか

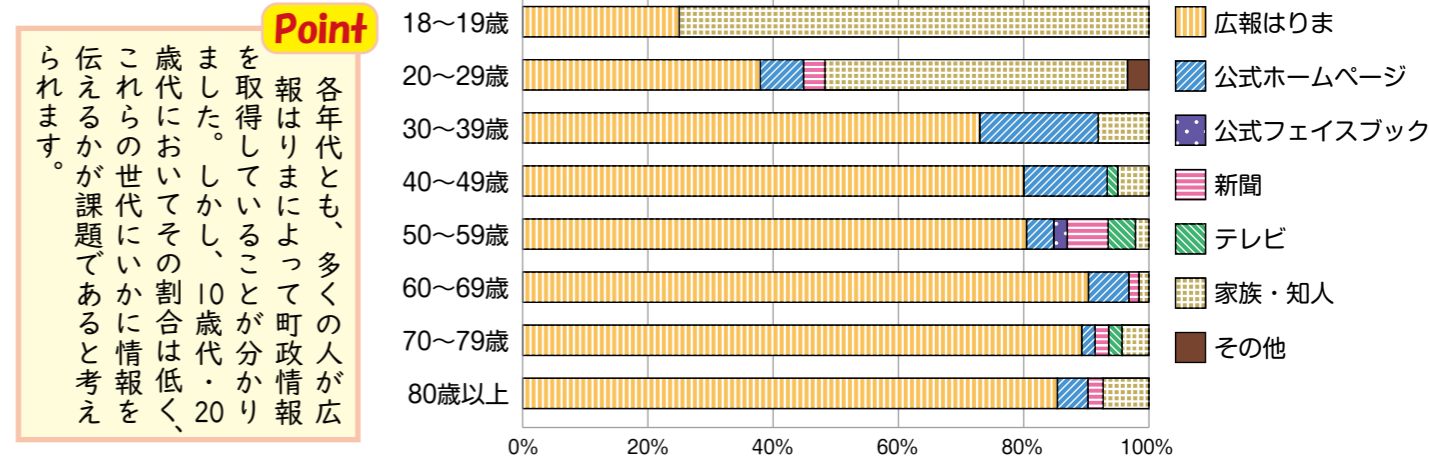


**Point**  
町の情報発信ツールは、広報はりま・ホームページ以外にもさまざまなものがあります。右の結果からは、公式ラインの認知度が最も高いことがわかります。しかし、現在公式ラインでは主に新型コロナウイルスに関する情報発信にとどまっております。その他の情報も積極的に発信していく必要があるといえます。一方で、知らないという結果から、SNS自体の認知度の向上を図っていくことも課題であると考えられます。

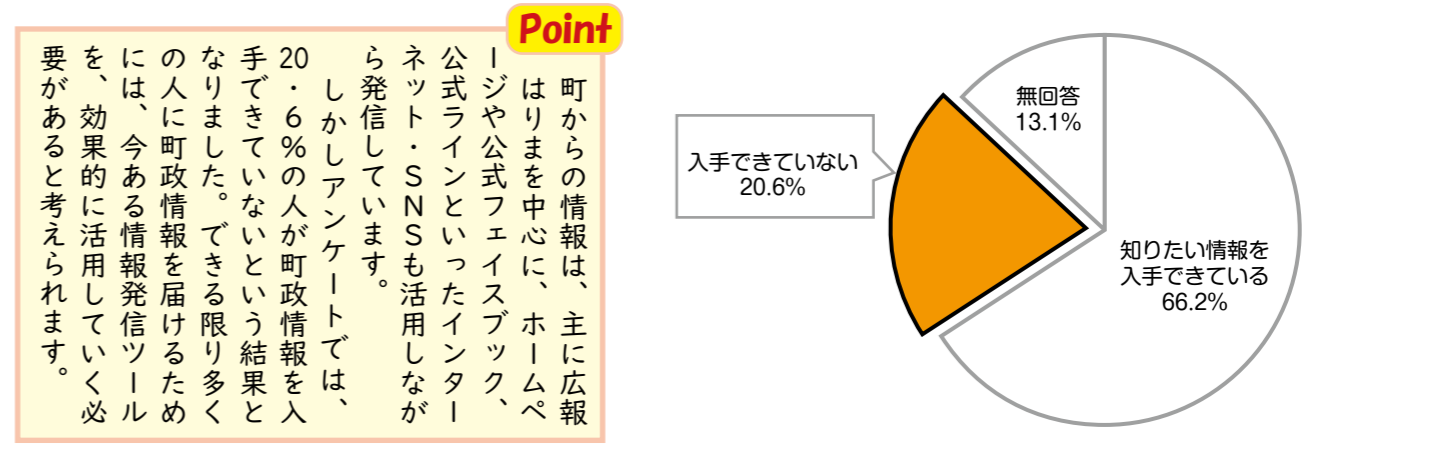
### ○日常的に最も見ている情報媒体について (年齢別)



### ○町政情報の最も入手する方法について (年齢別)



### ○町政情報を手に入れられているかについて



**Point**  
町からの情報は、主に広報はりまを中心に、ホームページや公式フェイスブック、公式ラインといったインターネット・SNSも活用しながら発信しています。しかしアンケートでは、20.6%の人が町政情報入手できていないという結果となりました。できる限り多くの人に町政情報を届けるためには、今ある情報発信ツールを、効果的に活用していく必要があると考えられます。

**担当者からメッセージ**  
今回の調査にご協力いただきました皆さま、お忙しい中、本当にありがとうございました。皆さまのご意見を全て紙面に載せることができませんでしたが、町の情報発信の向上に活かしてまいります。また、アンケートに限らずメールなどでもご意見は随時受け付けておりますので、どうぞお気軽にお寄せください。

**まとめ**  
今回のアンケート調査から、情報発信について3つのポイントがあることがわかりました。1点目は、年代ごとに最適な媒体で発信を行うこと、2点目は、皆さまの手に取ってもらえる広報はりまに関すること、3点目は、SNSをはじめとした広報はりま以外の手段を効果的に活用することです。これらを充実させることで、町政情報を得られていないと回答した20.6%の人にまで情報を届けられるように努めることが重要です。※アンケート調査結果報告のデータはホームページでも公表しています。